

手形廃止とでんさい

政府は2021年6月閣議決定した「成長戦略実行計画」に「2026年度末までに約束手形の利用廃止と小切手の全面的電子化」を盛り込んだ。全国銀行協会の自主行動計画に則り各銀行は取組を始めている。約束手形残高は1990年に107兆円となりピークを迎えたが、その後減少し現在は30兆円ほどの残高のようだ。

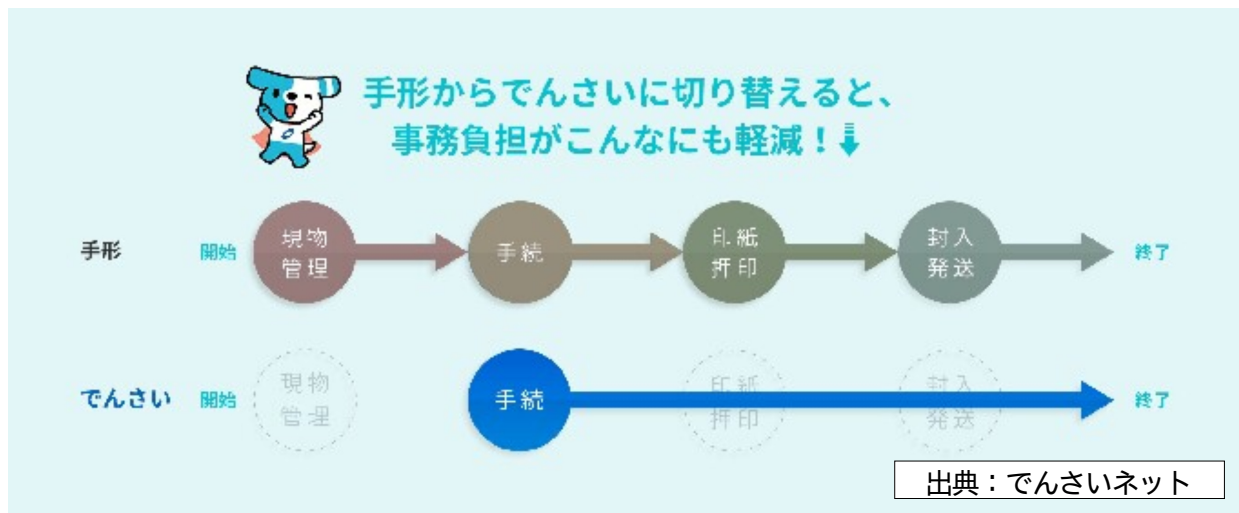
約束手形のメリットは、

- ① 現金払いを先に延ばすことができ資金コントロールが可能となる。
- ② 期日に現金化されるので、その間に利子はかからない。
- ③ 約束手形を振り出せる会社は一定の社会的信用が与えられたことになる。

デメリットは

- ① 手形帳、印紙代などのコストかかる。
- ② 紛失のリスク。
- ③ 不渡りが生じると経営危機に陥る。

など、手形のメリットとデメリットがあるようだ。



約束手形が廃止される理由としては約束手形の受取り側の経済的負担が大きく、デジタル化が進む中で紙媒体の決済方法が時代にあっていないと言われている。これらのデメリットを解決する手段として金融機関が進めているのが「でんさい」である。

全国銀行協会によれば、「でんさい」を利用することで支払い企業は、

- ①手形帳代・印紙代のコスト削減
- ②振出作業や郵送作業の事務負担軽減
- ③紛失・盗難のリスク低減

受取企業は①領収書が不要となり、郵送料や印紙代が削減②領収書の作成、手形の保管管理、取立依頼事務などが不要になる。③現物がないため、紛失や盗難の心配、取立忘れもなくなる。④資金繰りの円滑化等のメリットが生じると宣伝している。

一方、ボトルネックはデジタル化である。店主が高齢でデジタルに弱い企業ではデジタル化は進んでおらず、肥料卸商もいまだに肥料代を現金回収している場合もあると聞く。更に生産者に販売した場合は、俗に言う『益暮れ勘定』と言われ回収期間が長いとされており、肥料業界の慣習も短縮し改善する必要がある。

手形での決済に慣れ親しんでいたある意味『昭和』から、『令和』のでんさいに移行するのはデジタル化
(次ページへ続く)

(前ページより続く)

の波ではあるがこれに便乗した悪事に引っかからないように注意する必要がある。とは言え、来る2026年度末の約束手形利用廃止に向け金融機関に相談し「でんさい」等の準備を始めないといけない時期がきている。

～IFA国際肥料会議inシンガポール～

今年5月20日～22日に於いて、シンガポールにて行われたIFA国際肥料協会が主催する国際会議に当社原料部メンバーで参加してきました。

まず開催国となったシンガポールについて。国土は約720平方キロメートル（東京23区よりやや大きいくらい）。人口は約564万人（内シンガポール人・永住者は407万人/2022年時点）。その内、中華系74%・マレー系14%・インド系9%となります。そのため公用語は英語、中国語、マレー語、タミール語。宗教も仏教、キリスト教、イスラム教、道教、ヒンズー教と様々です。シンガポールは移民国家でたくさんの民族と文化が融合し、強力で効率的な政治政策・経済制度の下、アジアで最も豊かな国となり、国民一人あたりのGDPでは39位の日本を大きく抜いて世界5位となっております。

そんなシンガポールで開催されたIFA国際会議について、今回も世界中の肥料に関係する企業（原料及び肥料メーカー、バイヤー、トレーダー、情報誌機関など）が一堂に集結しました。コロナ明けということもあり、三日間で延べ72カ国、552社、1,265人の参加者となる盛況振りでした。

そしてIFA国際会議のメインイベントは主催者であるIFA、そして世界を代表する大手肥料メーカー達による世界の肥料市況や今後の展望についての説明、考察のプレゼンとなります。またその他にもプレゼン会場前の広場では、農業に関連する機械、資材メーカーでの新商品の展示ブースもあり、常に人が絶えない状況でした。そういったメインとなるイベントの傍ら、各国の肥料・原料メーカー達とバイヤー、トレーダー達が各々で情報交換を行うこともこの国際会議の目的でもあり、当社メンバーも各原料メーカーの方達と会議を行い情報交換に努めて参りました。

全体的な市況感としては3年前から始まったコロナパンデミック、ウクライナ戦争、中国輸出制限といった市況を劇的に変化させた状況から現在は大分落ち着きを取り戻してはいるものの、世界的な肥料需要という面ではまだ完全に回復したとは言えず、また供給面にも特別大きな問題がないことから買い側が有利となり、市況は弱い状況でした。そんな中で、インドや中国といった大型肥料消費国の今後の動向が市況変動の鍵となるため、バイヤーやメーカーも彼らの動きに対して非常に敏感になっていました。当社原料部も勿論、原料商社として常に世界市況の動向を精緻に把握して行きながら、今後も競争力ある原料を安定的に調達する使命を果たして参ります。
(原料部)



カビの発生しやすい時期なので、お風呂へ入る度にカビがないか隅々まで見てしまい疲れてしまいます。オススメなカビ対策ありますか？

編集事務局：田口、山内

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp

URL <http://www.mcagri.jp>